第130回

2017.8.18

企業経営動向調査

公益財団法人 徳島経済研究所

調 査 目 的 徳島県内の企業動向を的確に把握すること

对 象 企 業 県内主要企業 308社、回答企業 188社、回答率 61.0%

調査対象期間 2017年4~6月期の実績、7~9月期および10~12月期の予想

調 査 時 点 2017年7月上旬~下旬

要約

2017年 4 ~ 6 月期の業況判断は横ばい 7~9 月期はやや悪化するが、10~12月期は改善する見通し

県内企業 (全産業) 経営動向調査結果によれば、業況判断 B S I について、2017年 1 ~ 3 月期と比べ 4 ~ 6 月期 (前期→当期: \triangle 11→ \triangle 11) は横ばいとなった。前回調査時の予想 (\triangle 6) と比べると、やや悪化している。業種別では、製造業 (同: \triangle 15→ \triangle 10) はやや改善、非製造業 (同: \triangle 10→ \triangle 11) はやや悪化した。

先行きについて、 $7 \sim 9$ 月期の業況判断 ($\triangle 13$) は、改善を予想する企業の比率が低下することなどから、やや悪化する見通し。一方、 $10 \sim 12$ 月期の業況判断 (4) は改善する見通しである。

4~6月期の設備投資は、実施企業の比率は前年同期とほぼ横ばいであったが、総投資額は製造業が減少したことから、前年同期比36.6%減の約151億円となった。先行き7~9月期の計画は、実施企業の比率は前年同期とほぼ横ばいだが、金額は同65.9%増の見込みとなっている。

今後1年間の設備投資意欲については、前期と比べ、製造業、非製造業ともやや改善 している。

1. 概 況 (全産業)

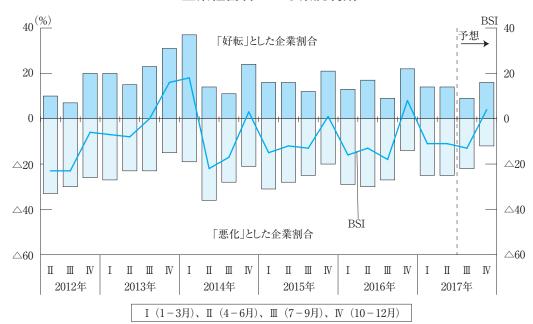
【2017年4~6月期の実績】 業況判断は横ばいだが、前回調査時と比べやや悪化

県内企業の当期(2017年4~6月期、以下同じ)の業況判断は、前期と比べ好転、 悪化の比率がほとんど変わらず、全体として横ばいとなった。

BSI(業況が「好転(増加)」と回答した企業割合から「悪化(減少)」と回答した企業割合を引いた数値)でみると、前期に比べ、売上げBSI($\triangle 2 \rightarrow \triangle 4$ (前回調査時の予想 $\triangle 5$))はやや悪化、収益BSI($\triangle 4 \rightarrow \triangle 14$ (同 $\triangle 10$))は悪化、業況判断BSI($\triangle 11 \rightarrow \triangle 11$ (同 $\triangle 6$))は横ばいとなった。

 $4 \sim 6$ 月期の業況判断 B S I を2012年からみると、△23→△8→△22→△12→△13→△11 (今回) となっている。円ドル相場や株価が安定して推移する中、県内景気は一部に持ち直しの兆しを見せていることもあり、前年同期よりもやや改善した。

企業経営者による業況判断



--- 図の見方 ---

- ① アンケートでは、売上げ、経常利益、業況の各項目について、前期に比べて「好転(増加)」「不変」「悪化(減少)」の回答を求めており、BSIはこのうち「好転(増加)」と回答した企業割合から「悪化(減少)」と回答した企業割合を差し引いた値です。
- ② このBSIから、「売上げが何%伸びたか」など計数的な測定はできませんが、 景気の転換点(景気の山、谷)や「好転感が県内の各企業にどの程度広がって いるか」といった「浸透度」をみることが可能です。
- ③ 前期比は季節性が入りやすいので、前年同期と比較することも必要です。

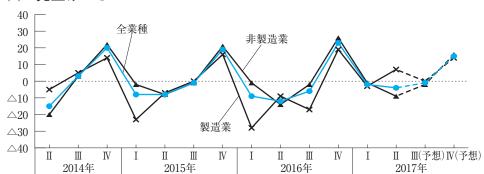
【2017年7~9月期の予想】 **業況判断はやや悪化の見通し**

 $7 \sim 9$ 月期の予想は、 $4 \sim 6$ 月期に比べ売上げBSI $(\triangle 4 \rightarrow \triangle 1)$ 、収益BSI $(\triangle 14 \rightarrow \triangle 11)$ はやや改善するが、業況判断BSI $(\triangle 11 \rightarrow \triangle 13)$ はやや悪化の見通しである。もっとも、この業況判断BSI は、前年同期実績 $(\triangle 18)$ をやや上回っている。

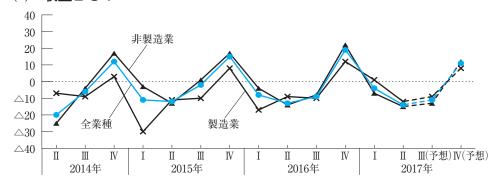
【2017年10~12月期の予想】 業況判断は改善する見通し

 $10\sim12$ 月期の予想は、 $7\sim9$ 月期に比べ、売上げBSI ($\triangle1\rightarrow15$)、収益BSI ($\triangle11\rightarrow11$)、業況判断BSI ($\triangle13\rightarrow4$) はともに改善する見通し。もっとも、この業況判断BSI は前年同期実績 (8) をやや下回っている。

(1) 売上げBSI



(2) 収益BSI



(3) 業況BSI



2. 製造業の動向

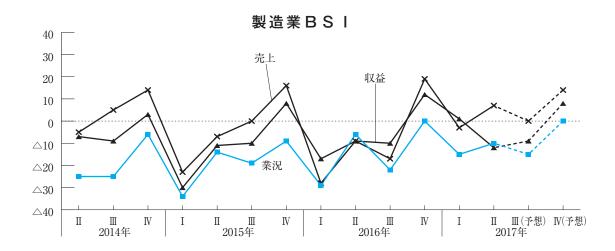
【製造業の現状】 業況判断はやや改善

前期に比べ、収益BSI(1→ \triangle 12(前回調査時の予想 \triangle 19)) は悪化の一方、売上げBSI(\triangle 3→7(同 \triangle 10)) は改善、業況判断BSI(\triangle 15→ \triangle 10(同 \triangle 13)) はやや改善と分かれた結果となった。前年同期と比べると、売上げBSI(\triangle 9→7) は改善したが、収益BSI(\triangle 9→ \triangle 12)、業況判断BSI(\triangle 6→ \triangle 10) はやや悪化している。

【先 行 き】 業況判断は7~9月期はやや悪化の一方、10~12月期は改善する見通し

 $7 \sim 9$ 月期の予想をみると、当期に比べ、収益BSI(△12→△9)はやや改善の一方、売上げBSI(7→0)、業況判断BSI(△10→△15)はやや悪化の見通し。もっとも、この業況判断BSIの予想は、前年同期(△22)よりも7ポイント上回っている。

 $10\sim12$ 月期の予想は、 $7\sim9$ 月期予想に比べ、売上げBSI ($0\rightarrow14$)、収益BSI ($\triangle9\rightarrow8$)、業況判断BSI ($\triangle15\rightarrow0$) はともに改善する見通し。この業況判断BSI の予想は、前年同期 (0) と横ばいとなっている。



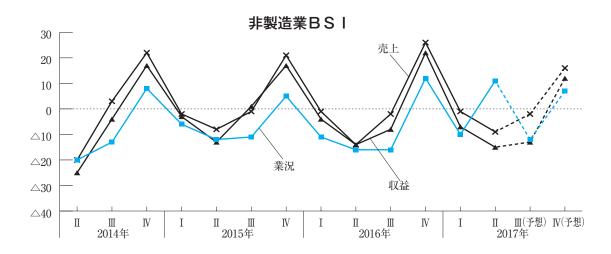
3. 非製造業の動向

【非製造業の現状】 業況判断はやや悪化

前期に比べ、売上げBSI (\triangle 1 → \triangle 9 (前回調査時の予想 \triangle 3))、収益BSI (\triangle 7 → \triangle 15 (同 \triangle 5))、業況判断BSI (\triangle 10 → \triangle 11 (同 \triangle 4)) はともにやや悪化した。前年同期と比べると、収益BSI (\triangle 14 → \triangle 15) がやや悪化の一方、売上げBSI (\triangle 14 → \triangle 9)、業況判断BSI (\triangle 16 → \triangle 11) はやや改善している。

【先 行 き】 業況判断は7~9月期はやや悪化の一方、10~12月期は改善の見通し

 $7 \sim 9$ 月期の予想をみると、当期に比べ、売上げBSI($\triangle 9 \rightarrow \triangle 2$)、収益BSI (△15→△13) がやや改善の一方、業況判断BSI(△11→△12) はやや悪化する見通し。 もっとも、この業況判断BSIの予想は、前年同期(△16)よりも4ポイント上回っている。 $10\sim12$ 月期の予想は、 $7\sim9$ 月期予想に比べ、売上げBSI ($\triangle2\rightarrow16$)、収益BSI (△13→12)、業況判断BSI (△12→7) はともに改善する見通し。もっとも、この業況 判断BSIは、前年同期(12)よりもやや悪化している。



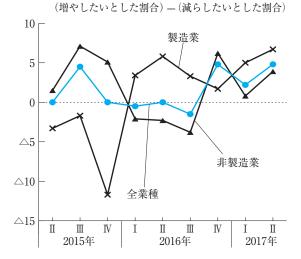
設備投資の動向 4.

回答企業(全産業)のうち、2017年4~6月期において1百万円以上の設備投資(新規 リース契約を含む)を実施した企業は全体の41.0%、総投資額は151億円1百万円(うち、 県内投資額は131億58百万円)であった。前年同期と比較すると、総投資額は、非製造業 が増加したものの製造業が大きく減少したことから、全体では36.6%減となった(前期比 では7.7%増)。実施企業の割合は、ほぼ横ばいとなった。

先行きの計画をみると、7~9月期の 実施企業割合は39.9%で前年同期とほぼ 横ばいだが、総投資額は約238億円で前年 同期比65.9%増となる見込み。10~12月 期の総投資額は、約209億円で同22.3%増 の見込みである。

今後1年間の設備投資意欲(全産業) は、「増やしたい」が17.6%、「減らしたい」 が12.8%、「ほぼ変わらない」が69.7%と なった。「増やしたい」から「減らしたい」 を差し引いた比率 (+4.8ポイント) は、前 期(+2.2ポイント)と比べやや上昇して いる。





設備投資額(支払ベース)



製 造 業

当期に1百万円以上の設備投資を実施した企業の割合は、45.0%で前年同期より8.8ポイント低下した。総投資額も、136億3百万円(前年同期224億44百万円)で大手の電気機械を中心に前年同期比39.4%減となった。うち、県内投資額は119億69百万円(同218億18百万円)となっている。

設備投資を目的別にみると、前期と比べ、「既存設備の補修更新」、「合理化・省力化」の比率が低下した一方、「増産・拡販のため」はやや上昇した。

一方、先行きの計画については、 $7 \sim 9$ 月期の総投資額は約195億円で前年同期比 58.5% 増、 $10 \sim 12$ 月期は約191億円で同30.5% 増の見込みである。

今後1年間の投資意欲について、先行き「増やしたい」とする企業割合 (21.7%) が「減らしたい」とする企業割合 (15.0%) を6.7ポイント上回り、この差は2期連続で上昇した。

非製造業

当期に1百万円以上の設備投資を実施した企業の割合は、39.1%で前年同期より3.1ポイント上昇した。総投資額も14億98百万円(前年同期13億56百万円)で、サービスや小売で増加したことを主因に、前年同期比10.5%増となった。県内投資額は11億89百万円(同8億79百万円)となっている。

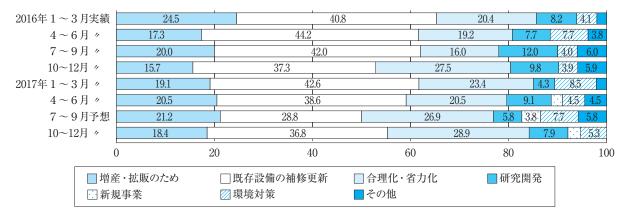
目的別にみると、前期と比べ、「既存設備の補修更新」は低下した一方、「合理化・省力化」は上昇した。この間、「拡販のため」はほぼ横ばいとなった。

先行きの計画は、7~9月期の総投資額は約43億円で前年同期比109.8%増(運送業で大型投資を予定)の一方、10~12月期は約18億円で同27.2%減となる見込みである。

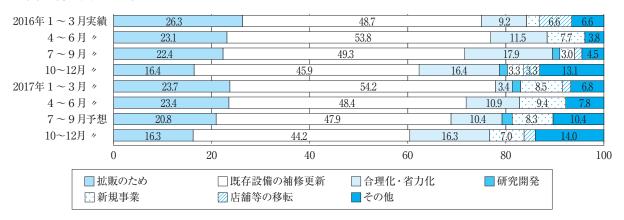
今後1年間の投資意欲は、先行き「増やしたい」とする企業割合 (15.6%) が「減らしたい」とする企業割合 (11.7%) を3.9ポイント上回り、2期ぶりに上昇した。

設備投資の目的

(1) 製 造 業



(2) 非製造業



(複数回答)

回答企業の概要

(社)

(41.)

					(14)
		総	数	製造業	非製造業
	1 百万円未満		3	2	1
沓	1~3百万円未満		1	1	0
本	3~5百万円未満		4	0	4
金	5~10百万円未満		3	0	3
資本金規模	10~50百万円未満		104	28	76
模	50~1億円未満		44	19	25
	1億円以上		29	10	19
	計		188	60	128
	10人未満		19	6	13
474	10~ 30人未満		42	13	29
従	30~ 50人未満		36	9	27
業	50~100人未満		34	6	28
員	100~200人未満		28	9	19
数	200~300人未満		13	8	5
双人	300∼		16	9	7
	計		188	60	128

		(社)
	業種	回答
	食料品	7
	繊維製品	4
製	木材・木製品	11
10	パルプ・紙	2
造	化学工業	7
عالاء	窯業・土石	5
業	機械・金属	18
	その他	6
	計	60
	建設業	17
11.	運送業	12
非	卸売業	35
製造	小売業	28
業	サービス業	35
714	その他	1
	計	128
	総 数	188

参考資料

BSI

(1) 業況判断

(単位:%, ポイント)

	全産業					製造業				非製造業			
	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI	
2015年10~12月実績	21	59	20	1	18	55	27	△ 9	22	61	17	5	
2016年1~3月 〃	13	58	29	$\triangle 16$	7	57	36	△29	16	57	27	$\triangle 11$	
4~6月 //	17	53	30	△13	19	56	25	\triangle 6	16	52	32	$\triangle 16$	
7~9月 〃	9	64	27	△18	8	62	30	$\triangle 22$	9	66	25	$\triangle 16$	
10~12月 〃	22	64	14	8	19	62	19	0	24	64	12	12	
2017年1~3月 〃	14	61	25	$\triangle 11$	15	55	30	△15	13	64	23	△10	
4~6月 〃	14	61	25	$\triangle 11$	10	70	20	△10	16	57	27	△11	
7~9月予想	9	69	22	△13	8	69	23	△15	9	70	21	$\triangle 12$	
10~12月 〃	16	72	12	4	10	80	10	0	20	67	13	7	

(2) 売上げ判断

(単位:%, ポイント)

		全層	雀 業			製力	造業		非製造業			
	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI
2015年10~12月実績	41	37	22	19	43	30	27	16	41	39	20	21
2016年1~3月 〃	28	35	37	△ 9	19	34	47	△28	32	35	33	$\triangle 1$
4~6月 ″	27	34	39	△12	29	33	38	\triangle 9	26	34	40	△14
7~9月 〃	26	42	32	\triangle 6	20	43	37	$\triangle 17$	28	42	30	$\triangle 2$
10~12月 〃	43	37	20	23	40	39	21	19	45	36	19	26
2017年1~3月 〃	28	42	30	$\triangle 2$	27	43	30	\triangle 3	29	41	30	$\triangle 1$
4~6月 〃	30	36	34	\triangle 4	32	43	25	7	29	33	38	\triangle 9
7~9月予想	26	47	27	$\triangle 1$	28	44	28	0	24	50	26	\triangle 2
10~12月 〃	31	53	16	15	27	60	13	14	34	48	18	16

(3) 経常利益判断

(単位:%, ポイント)

		全層	雀 業			製並	告 業		非製造業			
	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI	好転	不変	悪化	BSI
2015年10~12月実績	36	43	21	15	35	38	27	8	36	45	19	17
2016年1~3月 〃	26	40	34	△ 8	20	43	37	△17	29	38	33	\triangle 4
4~6月 ″	26	35	39	△13	29	33	38	\triangle 9	25	36	39	△14
7~9月 〃	25	41	34	\triangle 9	25	40	35	△10	25	42	33	△ 8
10~12月 〃	41	37	22	19	36	40	24	12	43	36	21	22
2017年1~3月 〃	27	42	31	\triangle 4	28	45	27	1	26	41	33	\triangle 7
4~6月 〃	22	42	36	△14	20	48	32	△12	23	39	38	△15
7~9月予想	19	51	30	△11	23	45	32	△ 9	16	55	29	△13
10~12月 〃	30	51	19	11	25	58	17	8	32	48	20	12

(注) BSI=(好転)-(悪化)